



旧公民館などを解体し、多目的広場として整備されます（役場からみた「おぐら山」の風景）



木下志き子議員

教育行政

新学習指導要領で力を入れる点

自ら学び考える力の育成と指導の充実

質問 教育行政について次の3点を問う。

- ①平成21年度新学習指導要領が策定され、それに基づいて学校教育が行われている。今後、どの部分に力を入れていこうとしているのか。
- ②通称「おぐら山」の建物

解体が予定されている。解体後の構想は。

岩船教育長

- ③町民グラウンド野球場トイレの整備が必要では。
- ①今回の改訂は「生きる力」をはぐくむ現行の学習指導要領の基本理念を引き継ぎながら、単に指導内

町の考えを聞く

医療行政

内科医師確保が必要

情報収集に努め、方策検討

容を増やすだけでなく、基礎・基本を定着させることに今より時間をかけて指導できるように改訂されたものと理解している。

- ②災害時の緊急避難場所および市街地中心部の多目的広場として、周囲の安全対策を講じて整備する計画である。
- ③老朽化が進んでおり、改修の検討を進めたい。

質問

県立山田病院の医師確保について問う。

- ①医師の健康にも十分配慮する意味も含め、一日も早い医師の確保、特に内科医師確保が必要だと思いが、その見通しは。
- ②常勤医3人体制だった3月と2人体制になった4月では、患者の数はどのように変化したか。

沼崎町長

- ①町としては、県立山田病院の内科医転出情報を得

- て、直ちに県医療局と岩手医大に向いて内科医確保を要請しているが、絶対的な医師不足という現実の中で、速やかに確保できる見通しは立っていない。今後は、医師確保情報の収集に努め、「山田病院・関係機関・地域」と一体となり、具体的な方策を検討していきたい。
- ②4月の外来患者数は3174人、3月に比較して891人減少している。